



文化 しらかわ

No. 60

- 白川町文化協会
令和8年4月1日発行
- 事務局
白川町教育委員会
生涯学習係
TEL 72-2317

さ・ま〜kajiiの演奏会は、ピアノやマリンバの演奏がとても素晴らしく印象に残りました。きれいな音に加えて、お茶碗やペットボトルなど身近な物を使った演奏もあり、音楽の幅の広さを感じました。演奏だけではなく、お話もとても上手で曲の合間のやりとりが楽しく、自然と引き込まれました。難しさを感じることなく、音やリズムを素直に楽しめる内容で、終始明るい雰囲気での演奏会でした。音楽は特別なものではなく、身近なところから楽しめるものだと感じる心に残る時間でした。



さ・ま〜kajii演奏会に参加して

黒川保育園保護者

40周年 ちよつと前コンサート



白川女声コーラス たんぽぽ
 四〇周年ちよつと前コンサート
 開演 午後二時 (開場 午後一時半)

記念コンサートを終えて くいのち

白川女声コーラスたんぽぽ



令和7年5月25日、町民会館グロリアホールにて「白川女声コーラスたんぽぽ40周年ちよつと前コンサート(いのち)」を開催しました。指導下さっている野村先生から3年前に「40周年のコンサートどうしますか」と聞かれた時、皆さん迷いもなく賛同されていました。40周年にはまだ早いけど、自分たちの体調のこと、家族のことなど考えコンサートを計画し始めたのが2年前でした。特に選曲については、皆さん歌いたい曲がたくさんあって、その中から「いのち」の大切さを軸に選びました。年2回大きな合唱祭があり、その間にコンサートの曲を練習することは、年のせいなのかなかなか覚えられない私たちにとって大変なことでした。

なかでも「花に寄せて」は難しいと思っていたので、先生からコンサートの曲から外そうとご提案があったときにはホッとしました。令和7年に入ってから、いろいろ準備をするうちにコンサートに向けて集中できるようにになりました。前日準備のために集まった時には、いよいよ明日と気も引き締められました。当日は、前日からの雨も午前中には上がり、多くのお客様にご来場いただきました。コンサートの時間はあつと言う間に終わったように感じましたが、会場の皆さんから「感動しました」「とても良かったです」と声をかけていただいたこと、野村先生から「いいコンサートでしたね」と言っていたいただいたことはとても嬉しいことでした。ご指導下さる先生方に恵まれたこと、地域の皆さんのご支援や家族の温かい協力のお陰と何より一緒に歌う仲間がいることで今日まで歌い続けてこれたこと、本当に幸せなことです。

これからもたくさんさんの曲に出会い、歌っていきたいと思います。私たちと一緒に歌って下さる方も募集しています。どうかお気軽においで下さい。お待ちしております。

「白川町芸能発表会を 開催して」

芸能発表会実行委員長

今井 悟

昨年の11月9日(日)に町民会館グロリアホールに於いて「第48回白川町芸能発表会」が開催されました。

自分にとって初めての運営委員長で、よくわからない所が多々あって、出場者やスタッフの皆様にご迷惑をおかけしたかと思えます。それと出場者数の減少もあって当初は開催できるか心配しましたが、他町村のご協力もありバラエティーに富んだ発表会ではなかったかと思えます。御嵩町さんの舞踊や詩吟、最後に演奏していただいた迫力ある東白川村和太鼓の「松茶太鼓(かいさだいこ)」、落語は佐見と東白川村から一席ずつ出演いただきました。

今回はカラオケがありませんでしたが、十分に見応えのある出し物が多かったのかと思ったのではないかと思えます。

「黒川中学校文化祭」

黒川中学校 校長

松浦 稲子

黒川中学校では、ふるさと学習として地域講師の方のご協力により伝統文化を学習しています。

一年生の箱岩太鼓は平成七年度から三十一年目、二年生の地歌舞伎と三年生の三味線は平成十五年度から二十二年目になり、その成果を毎年文化祭で披露します。本年度は東座で披露する歌舞伎を白川中学校全校生徒を含め約百七十名の方に見ていただきました。

生徒達は、観客に歌舞伎の魅力が伝わることを願って、チラシを作成し、各役の特徴が表れる所作や台詞の言い回しにこだわって取り組みました。披露後、協力していただいた東座保存会の方と共に「大成功」を笑顔で讃え合いました。

この学びを通して、生徒達は、継承する人々の思いに触れ、地域の方や仲間と共に創造することの魅力を感じています。

「黒川音楽祭」

伊藤 実知子



音楽祭ではたくさんの方の場を頂きまして、本当にありがとうございました。第4回目にしようやく目標動員数三百人ほどを達成することができ、嬉しく思っております。

第1回目からのことを思い返せば様々な想い、楽しさややりがい、そして苦労もあった中、音を上げそうになる日もありました。皆様の応援の言葉をエネルギーに、そして当日はきつと喜んでくださる：それだけを心の支えにし、絶対にやり抜くと自分に言い聞かせ、走り続けております。今年も第5回目となる節目

ですが、この白川町で音楽祭開催は変わらぬ私の使命です。今後も応援、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。今年もお楽しみになさっていてください!!

「東白川村文化協会」

令和7年度も白川町・東白川村の文化交流事業が行われ、白川町芸能発表会に東白川村から松茶太鼓保存会(かいさだいこ)が出演しました。

松茶太鼓は、和太鼓の力強い音と笛やシンセサイザーのメロディーが相まって、目の前に情景が浮かぶような臨場感ある演奏が特徴です。その演奏を白川町の皆さんに聴いていただくことができ、とてもうれしかったです。また松茶太鼓のメンバーからは「白川の芸能発表会では、東白川では見聞きすることができない楽器や踊りなどがあり、とても楽しくて見ごたえがあった。」という声をききました。

今後も隣の町村同士、ますます文化交流を深めていけたらと思います。



ご挨拶
文化協会会長
安江 充

昨年四月の役員改選におきまして、中島前会長の後任として私が引き継ぐこととなりました。もとよりその重責を担うような器ではありませんが、選任をされました以上は誠に微力ではありますが精一杯、努めて行きたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、白川町文化協会の現状は、高齢化等の要因もあり、年々会員数とサークル数の減少があり、以前のような活動が出来にくくなっています。その様な中ではありますが、一つでも一人でもサークルや会員の増加を図っていきたくと考えています。

七年度は、八月に白川町芸術文化祭を共催にて開催、十一月には、白川町芸能発表会を開催しました。芸能発表会では、御嵩町・東白川村文化協会との交流も行いました。文芸部門は、文芸大会を二回開催しました。その他、それぞれのサークルで発表会などの活動をしております。

今後とも文化協会会員の力を結集し、地域文化の発展のため微力ながら頑張って行きたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。



サークル紹介

はざま句会

戦後間もなく、黒川中新田の中山秀浦氏により句会が発足し、その後地元黒川の先輩俳人に受け継がれ、今日はざま句会として活動を続けています。黒川ふれあいセンターで月例会会を行い、良い季節には吟行へも出掛けます。黒川の先輩俳人皆様の伝統を受け継ぎ、これからも活動して参ります。

飛水俳句会

飛水俳句会は会員数17名(町内15名、町外2名)、毎月第2水曜日の午後から、主に楽集館で定例会(新年会、吟行会含む)を開催。投句は毎月3句を郵送等で事務局へ、会員相互で選評します。入会し継続すれば自作の句集(額入り)を贈呈。広報しらかわ、公民館まつりの短冊出展など全員の作品展示。モットーは「みんなでわいわい、脳トレ俳句」

木の芽(このめ)会

木の芽会は平成4年に10名ほどの会員にて活動が開始しました。現在も会員数は変わりませんが、立ち上げ当時から変わらず引継ぎ続けてくださる方が2人います。日々の暮らしを17文字に織り込み、頭を捻る事は認知症予防に役買っていると思います。月1度の句会はお喋り会でもあり、とても楽しく活動しています。

清流句会

令和5年の白川北俳句講座及び、令和6年の学びのつどい俳句講座を経て、令和6年11月に発足しました。現在会員は7名で、講師として金山町の遠藤典子さんの指導を仰ぎ、白川北ふれあいセンターにて月例会を行います。新年句会や吟行句会も年1回行い、楽しんでます。季語を入れた俳句づくりに日夜奮闘していると、あっという間に1ヵ月が過ぎてきます。

漫俳句会

岡本一平氏によって始まった漫俳は、80年の長きにわたり白川町に根付き、今日の漫俳句会につながっています。現在の会員数は30名で、町内だけでなく県内・関東・中京など地域に広がっています。月1回の句会では、席題に基づく3句をその場で創作し互選を行います。この、真剣勝負が楽しいという会員さんもみえます。句会に参加できない会員さんからは、月末締め切りの投句をいただき、会員すべての互選によって入選句を決め、広報しらかわに掲載していただきます。たとえ寝たきりでも、ハガキ1枚で参加できる漫俳句会は、会員募集中です!

白川短歌会

短歌講座を経て、令和4年4月に白川短歌会として発足しました。会員は現在13名です。(出詠のみの会員・町外会員もあり)講師として可児氏の水谷広海先生をお招きし、月例短歌会を、町民会館にて開催しています。毎月各自の提出した歌を詩草とし、それぞれが感想や批評を行います。また、短歌会の司会進行も会員で行うようになりました。歌会は、皆さんの意見が様々で面白いです。

書画部会

私たち、書画部会は絵画制作等を中心に活動を展開しています。部会では、ふるさとまつりや地区公民館まつりに協力しています。また、毎年2月には楽集館で開催の「ミニギャラリー」に参加しています。この展示会は1ヵ月と大変長い間、展示していただき私達には大変ありがたい事です。書画部会の今後の課題としては会員が少しでも増えたらと願っています。絵画・写真・書に興味のある方はぜひ参加して一緒に活動しませんか

和心会(茶道)

月2回のお稽古をしています。親子教室を月1回開催しています。11月のお茶席では子ども達もお手伝いをします。興味のある方は、ぜひご連絡をお待ちしております。問合せ先：0574-72-2524(杉山)

佐見ベンチャーズ

中津川市の音楽仲間4人で活動しているバンドです。アメリカのベンチャーズのコピーがほとんどです。コロナ禍前は毎年夏まつりで出演していましたが、それ以来途絶えています。今年は佐見で2回くらい(鍛山座と夏祭り)はライブをやろうと計画中です。ぜひ聴きにきてください。

～黒川音楽祭～ 伊藤実知子

人生を豊かにする音楽にもっと触れてみませんか? 「こんな楽器を習いたい」「こんな曲を演奏してみたい」など、何でも相談してください!! 音楽イベントを開催したい時も伊藤実知子が全て相談に乗ります。是非ご一緒に♪

美濃白川鼻笛 CLUB

美濃白川鼻笛 CLUB は、発足から8年、現在13名で活動しています。鼻笛は鼻から息が出せれば誰でも楽しめ、呼吸を意識することで健康づくりや脳トレにもつながります。楽譜が読めなくても、知っている曲でOK。メンバーも少しずつ増え、笑いの絶えない CLUB です。毎月第3水曜19時から葛牧公民館で練習中。見学・体験はいつでも対応可能です。みなさんの参加お待ちしております

マジッククラブ

不思議な現象を起こして、自分も楽しみ、皆さんにも楽しんでみましょう。
やってみたい方や公演依頼の方も、気軽に連絡下さい。
TEL 0574-75-2246
TEL 090-1418-6607 (大岩)

白川ハーモニカクラブ

現在、クラブ員は私1人です。
ハーモニカはだれでも気軽に演奏できる楽器です。独奏だけでなく、人数が集まれば合奏で楽しむこともできます。ハーモニカを始めてみませんか?

琴伝流 大正琴 なでしこ会

練習日: 月2回 隔週(第2、4)土曜日
問合せ先: 090-2687-6331 熊崎美枝子
内容: 唱歌、演歌、流行歌とレベルに応じて小オーケストラの様に合奏を楽しんでいます。町芸能発表会他、岐阜県大会にも出場して楽しい思い出作りをして居ります。
場所は、三川のクラブハウスが主ですが…何時でもお立ち寄りください。お待ちしております。

華道 知翠会

問い合わせ先 080-1629-6702 (鈴木)
会員の高齢化のため、この頃の活動は、華展の見学位で、後は会える日に集まって座談会をしています。

東座歌舞伎保存会

定期公演日: 毎年5月第3日曜日 練習日 公演3か月前週1回程度
内容: 芝居小屋東座で地歌舞伎を行っています。定期公演には、小・中学生から一般の大人まで出演しています。80代位まで現役です。歌舞伎をやってみたい方は是非とも参加してください。連絡は、090-1624-8018 安江まで

佐見歌舞伎サークル

練習日: 不定期
問合せ先: 090-1472-2062 今井
内容: 三味線・太夫の稽古もやっています。不定期になりますが、興味のある方は一度見学してみてください。

カラオケ部会

カラオケ部会は、会員が3人という少ない人数で活動しています。コロナ前は、会員もそれなりに居ましたが、コロナ禍でマイクを持って歌うこともできなくなり次第に会員が減少してしまいました。今年は、秋に歌謡祭を開催することになり、会員力を合わせて成功できるよう頑張っております。また、仲間も募集しておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

白川女声コーラスたんぽぽ

現在「たんぽぽ」の団員は40代～70代の幅広い年齢層で21名和気あいあいとした雰囲気です。合唱曲はクラシック、童謡、ポピュラーなど合唱祭や発表会に向けて練習しています。「たんぽぽ」で楽しく一緒に歌う仲間を募集しています。
場所: 健遊館(白川病院敷地内)
日時: 木曜日 19:30～21:00
連絡先: 090-3446-8209 (野尻)

白川女声合唱団 爽々(さうさう)

練習日: 月2回ほど土曜日に町内の公民館や町民会館で行っています。
内容: 日本の歌やポップスから、ザ・合唱のような本格的な歌まで、さまざまジャンルを問わず楽しく練習しています。歌好きな方、ぜひ一緒に歌いましょう。(問合せ先 090-3457-1941 桂川)

琴伝流 大正琴 友志会

練習日: 月1～2回 メンバーの都合のいい日
問合せ先: 090-2687-6331 熊崎美枝子
内容: あらゆる分野で少々高度な曲を楽しみながら勉強して居ります。町芸能発表会、他グループの応援演奏をしたり、県大会、中京大会、ボランティア等活動して居ります。経験者大歓迎です。
場所: 町民会館 3階視聴室



令和8年 白川町新春文芸 大会入賞作品

町内外の文芸愛好家の皆様から、ご応募をいただき、令和8年新春文芸大会を開催いたしました。今回も、中学生の皆さんに参加していただき、学童の部といたしました

一般応募作品数は、短歌三十六首・俳句六十六句・漫俳二十八句。学童の皆さんからは、俳句五十句・漫俳は八十二句でした。応募の皆様には、心より感謝申し上げます。

【短歌の部】

- 1位 (成 山) 伊藤 邦子
山霧の薄らいでゆく山里に小春の日ざし冬支度する
- 2位 (三川本郷) 今井多美子
亡き婿の日課に為せし落葉掃く丸き背中に千の風吹くに
- 3位 (東白川村) 稲垣八穂子
玄関に小さな靴が揃えられ紅い葉黄の葉木の実も並ぶ
- 4位 (大 利) 高木ふさ枝
向ふ三軒両隣空き家になって久しくも軒の山茶花紅鮮やかに
- 5位 (大 寺) 瀨瀬 具幸
冷暖をあわせ持つてる自販機のように出せない素直なHOT

【俳句の部】

- 6位 (油 井) 安江 里子
陽だまりの縁側の隅不揃いの夫婦湯飲みは寄り添い添いでおり
- 7位 (両 神) 杉山せい子
黄泉路へと旅立つ君は十八番とす水戸黄門を唄って送る
- 8位 (大 寺) 田口 一行
物高くなりたる世相の夕飯に研ぎたる米をしばしみつめぬ
- 1位 (可児市) 秋田 治代
行く年や良きこと捜す日記帳
- 2位 (広 島) 田口 芳恵
必ずや生きると決めて日記買ふ
- 3位 (大 利) 太田 米子
清流の架橋百年初山河
- 4位 (大 寺) 田口 一行
齢には勝てぬ字のあり年賀状
- 5位 (中新田) 藤井 早苗
五十年中身変わらぬ雑煮かな
- 6位 (薄 野) 松浦なつ子
押し車何時も傍ら日向ぼこ
- 7位 (両 神) 杉山せい子
やっとこさ雪の轍をポストまで
- 8位 (大 利) 高木ふさ枝
明けの星研ぎ澄まされて寒に入る

【漫俳の部】

題「苦心」又は「腹」

- 1位 (油 井) 安江 里子
満腹にさせてそろそろ頼み事
- 2位 (広 島) 田口 芳恵
足腰が立たず時々腹が立つ
- 3位 (三川本郷) 今井 昌子
気合入れ力士がたたく太鼓腹
- 4位 (春日井市) 長谷川めぐみ
譲られて今だけ妊婦演じ切る
- 5位 (日 向) 鈴村 政子
おばあちゃん腹八分つてどこらへん
- 6位 (下之平) 藤井志げ子
苦心した接ぎ木の栗を切り倒す
- 7位 (三川本郷) 山本 榮子
苦心して編んだ帽子は棚の上
- 8位 (大 寺) 田口 一行
頂くや白菜一貫腹に抱く

【学童の部】

- 俳句
- 入選 (蘇原小学校) 川上 伶乃
ごっかんで食べるおでんはかくべつだ
- 入選 (黒川小学校) 山中なおき
さんたさんくるかたのしみはやくねよ
- 入選 (白川小学校) 榎間 そら
一度はねお話ししたいサンタさん
- 入選 (白川小学校) 細江 維吹
サンタさんどこから来るのおしえてよ
- 入選 (黒川小学校) こいけかほ
ふゆやすみゆきであそぶよいとことね

- 入選 (黒川小学校) 古田 糸
クリスマスなにしたのんだかたのしみだ
- 入選 (白川小学校) 大岩 亜湖
春風よ雪をとかして一仕事
- 入選 (蘇原小学校) 土井 玲奈
指の先息吹きかけて暖まる

【学童の部】

漫俳
題「苦心」又は「腹」

- 入選 (黒川中学校) 田口 詩乃
止まらない腹八分目守れない
- 入選 (黒川中学校) 川上 尋叶
腹くくりテストへ向かう冬の朝
- 入選 (黒川中学校) 中山 滋博
妹の福笑い見て腹抱え
- 入選 (黒川中学校) 古田 灯
苦心して祖父と豚汁完成だ
- 入選 (黒川中学校) 瀨瀬 零
不思議だなどこから声が腹話術
- 入選 (黒川小学校) 大脇茶太郎
道こおり親は苦心で春よ来い
- 入選 (黒川小学校) 藤井 星桃
苦心してなわとび跳べた二重跳び
- 入選 (白川小学校) 伊藤 神莞
おなか見てクルンと回るよ前回り
- 入選 (黒川中学校) 新田環仁郎
苦心時自分を褒めて乗り越える
- 入選 (白川小学校) 濱崎 友絆
年越しのテレビ番組腹もげる

令和7年度 事業報告

令和7年度に行われた事業について紹介します

【総合事業】

○第63回文芸大会

10月紙上大会
作品応募数

短歌 18名 51首
俳句 34名 100句
漫俳 19名 56句

○新春文芸大会（紙上大会）

1月開催

*内容は「文芸ひろば6頁」をご覧ください。

○第48回芸能発表会

11月9日 町民会館

9演題 8団体

お茶席同時開設

○ふるさとふれあい展への参加

11月1日～3日 町民会館

お花・絵画等の作品を出展

【部会活動事業】

○書画部会

ふるさとふれあい展へ出展

楽集館ミニギャラリーで展示

公民館まつりへ出展

○芸能部会

黒川東座ふれあい公演

5月18日 東座

○佐見歌舞伎

11月16日 旧佐見小体育館

○黒中文化祭歌舞伎指導

9～10月 9回

10月24日 発表

○黒小歌舞伎教室

12月 2回

○佐見小歌舞伎指導

9月～11月 6回

○佐見小かがやき発表会

2月26日
伝承教室を開催

○文芸部会

中日短歌会岐阜特別短歌会に参加
(岐阜市で開催)

○漫俳句会年間句集発行

黒川小・中学校漫俳指導

中日・美濃加茂文芸祭に投句

岡本一平句碑清掃

公民館祭りに作品出展

○カラオケ民謡部会

練習会に参加

○茶華道部会

芸能発表会でのお茶席開設

伝統文化親子教室の開催

ふるさとふれあい展に作品展示

名古屋池坊展見学

○コーラス部会

40周年ちよつと前コンサート

5月25日 町民会館 たんぽぽ

パイプオルガンと歌おうに参加

県・中濃合唱祭に参加

東白川村文化祭に参加

○おとなうコンサートに参加

○器楽部会

芸能発表会に参加

中京・県大会に参加

四日市市・各務原市にて

夏ライブに参加 中津川市

パイプオルガンと歌おうに参加

白川・黒川音楽祭

11月1日 東座

【共催事業】

○白川町芸術文化祭

町芸術文化祭

さ・ま・ま Kanji

ファミリーコンサート

8月3日

【広報事業】

○広報誌「文化しらかわ」の発行

発行

【交流事業】

○御嵩町と文化交流

文化協会発表会に出演

10月26日

○東白川村と文化交流

11月3日

文化展・芸能発表会を観覧

【その他】

○年間を通じ福祉施設等との交流

「役員紹介」

令和七・八年度

白川町文化協会役員

会長	安江 充 (鱒 渕)
副会長	野尻 泉 (本 郷)
〃	山崎登美子 (小原二)
庶務	大岩 敏廣 (葛 牧)
会計	田口 清美 (本 郷)

地区担当理事

白川	山崎登美子 (小原二)
白川北	新田 則和 (葛 牧)
蘇原	鈴木 智子 (下赤河)
黒川	藤井 峰和 (中之平)
佐見	田口 厚宏 (大 寺)

部会担当理事

カラオケ	榎間 昭文 (藤 井)
茶華道	田口 清美 (本 郷)
文芸	瀬瀬 具幸 (大 寺)
コーラス	桂川のぞみ (東白川)
器楽	杉山 明美 (大 利)
芸能	今井 悟 (徳 田)
事務局	田口 凌 (教育委員会)

白川町芸術文化祭

～沖縄からの風をお楽しみください～



沖縄音楽グループ

ティンク ティンク

沖縄音楽

あさどやゆんた .etc



賛助出演

エイサアトノームズ

杵振り踊り (白川町切井地区)

杵振り奉納 100周年



2026年7月5日(日)

開演 / 午後 1:30 (開場 / 午後 1:00)

会場 / 白川町 町民会館
グロリアホール

岐阜県加茂郡白川町河岐 1645-1

入場 / 無料

編集後記

「文化」とは？

この言葉を辞書で調べてみますと

「人間らしい生活の積み重ね」と記されています。

先日、大学入学共通テストでAIが挑戦したところ、正解率が97%に達したという事でした。人が創ったAIが人間より優れた知能を有していると言っています。

(私の独り言)「この先、ロボットに人間が支配されてしまうのではないのか？」

人間らしい生活スタイルは人それぞれではありますが、文化を高めていくということは大切なことだと思います。

白川町文化協会は歴史もあり、さまざまなサークルが活躍されてきました。しかし、今、サークルの数も減少し頭を悩ましてこの頃でございます。町内各地で開かれていた公民館講座等を利用していただき、少しでも「文化」に触れていただくことを願っております。今年一年、どうぞ宜しくお願いいたします。

(山崎)

(文化しらかわ編集委員)

山崎登美子・安江 充
野尻 泉・大岩 敏 廣
額 具 幸・今 井 凌 悟
田 口 清 美・田 口 凌 悟